

関東支部群馬グループ第一回会合報告

地域活動グループ・群馬グループ幹事

田尻要(群馬高専環境都市工学科)

関東支部群馬グループの第一回目となる会合が、平成16年8月9日(月)18時から前橋工科大学大学院棟(前橋市)において開催され、約50名の参加があった。

会合の最初に、関東支部幹事長の岸田隆夫様(東亜建設工業㈱技術研究所長)より、関東支部の概要とともに、関東支部長である石原研而先生(中央大学特任教授)の紹介があった。引き続き、石原先生より、関東支部設立の経緯や現在の活動ならびに今後への期待などについて挨拶があった。

群馬グループからは、関東支部評議員の川西寛様(群馬県理事・県土整備局長)より、群馬県の基盤整備を進めるにあたって、関東支部および群馬グループに対する期待が述べられた。それを受けて、関東支部評議員の鵜飼恵三先生(群馬大学教授)より、群馬グループ設立の経緯や今後の活動目標について説明と提案があった。群馬県においては、生活・工業・農業用水を地下水に大きく賦存していることから、平野部における地盤沈下問題や中山間部における地下水の水質問題など、これら課題の解決には地盤の詳細な把握が必要であるものの、現在のところ地盤情報の整理は必ずしも充分ではないと言われている。このような状況を鑑み、群馬グループの具体的なアクションとして、群馬県においても地盤情報のデータベース化を進めることで、上述のような諸問題の解決に供していくことが提案された。

続いて、石原研而先生より斜面崩壊に関する特別講話があった。地すべりや土石流の具体的な事例や発生メカニズムの解説などが話され、参加者は斜面災害への取り組みについて、地盤工学に携わる技術者の社会的使命をあらためて認識した。

会合の終了後、19時30分より前橋工科大学学生会館へ会場を移し意見交換会が開催された。鵜飼恵三先生の開会挨拶に引き続き、群馬グループ幹事の樋口邦弘様(㈱黒岩測量設計事務所)より乾杯の発声の後懇談へと進行した。懇談では参加者同士の紹介にとどまらず、貴重な情報交換が多くなされ、予定していた1時間は瞬く間に過ぎ、最後に群馬グループ幹事の小山田吉孝様(地域計画㈱)の閉会挨拶で意見交換会を終了した。

群馬グループでは参加幹事を増強し、地域に貢献できる活動を精力的に行っていく予定です。ご興味のある方は、会員・非会員に関わらず、ご参加をお待ち申し上げます。

最後になりましたが、第一回会合の会場設営にご尽力くださいました群馬グループ幹事の土倉泰先生(前橋工科大学助教授)に深謝申し上げます。また、会合ならびに意見交換会の司会は、田尻要(群馬高専)が拝命いたしました。お聞き苦しい点など多々ありましたことをお詫び申し上げます。